


受賞者氏名	田路則子	
所属	経営学部	
受賞年月日	2021年3月3日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	一般財団法人商工総合研究所	
受賞名	「第45回中小企業研究奨励賞」の準賞	
受賞年月日	2021年3月26日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益財団法人電気通信普及財団	
受賞名	「第36回電気通信普及財団賞(テレコム社会科学賞)」の奨励賞	
受賞(研究)内容詳細	<p>『起業プロセスと不確実性のマネジメントー首都圏とシリコンバレーのWebビジネスの成長要因ー』田路則子 白桃書房 2020年3月</p> <p>要約 「首都圏とアントレプレヌールシップの聖地と讃えられるシリコンバレーのスタートアップを7年間追跡し、2010年代のWebビジネスにおいては、日本は米国よりも成長性が低くはないという発見で通説を覆した。起業家の年齢は30代半ばであり、資金調達と成長の確率にも大差はない。ただし、レータ一段階の投資額は桁違いに少なく、結果としてユニコーンの輩出が日本では少ないことが説明できる。また、GAFに大きく水を開けられている日本企業の弱さが指摘されていることは、製品サービスのハイテクレベルの低さに起因すると推論できる。また、成長したサンプルを取り上げて、起業機会の認識と意思決定を解き明かした。起業家は仕事の経験やネットワークを活かして機会を認識し、不確実性の高い状況下において、曖昧さを抱き込み、予期せぬ事象を逆手に取るような意思決定を行なっている」。</p> <p>電気通信普及財団賞の受賞理由 「少子高齢化に直面し、年々日本の国際競争力は低下している。経済の活力の復活には『新』を生み出す起業が非常に重要である。本書は、Webビジネスについて定量的に起業の『真実』に迫っている。また日米の起業事例についてフィールド調査を行い、不確実性への対処方法を示している。Webビジネス以外の起業にも本書はアイデアを提供するものであり、示唆に富む著書である」</p>	